



カタールレ富山の地域連携

カタールレ富山では、ホームタウンである富山県にお住まいの皆様が「ここに住んでいて良かった」と実感できるように、競技以外のフィールドでも、様々な地域連携活動に取り組んでいます。これからも、サッカークラブとしての発信力を活かしながら、地域のハブとしてパートナー企業やファン・サポーターの皆様を巻き込み、様々な社会課題にスポットライトを当ててまいります。



福祉 高齢者施設等の訪問・交流

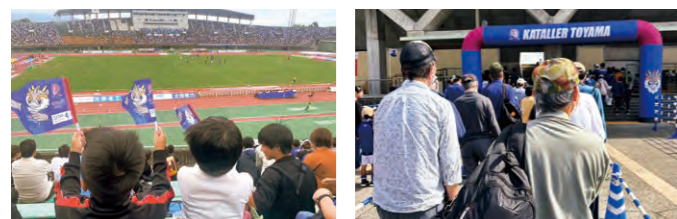
高齢者や認知症の方が生活する施設を訪問し、レクリエーションを実施しています。

クラブスタッフと一緒にサツマイモの栽培や焼き芋パーティを楽しんだり、選手を囲んでの質問タイムで和やかな時間を過ごしたりしています。普段は周囲に「支えられる」場面の多い方が、地元サッカークラブのサポーターとなって「支える」姿をみせていただけます。

これからも、地域のサッカークラブがあることで、いくつになっても生き生きと、心を揺さぶられる体験ができることの素晴らしさを伝えていきます。



福祉 福祉施設の皆様をホームゲームにご招待



児童養護施設・障害者施設・フリースクール等、子どもたちを中心に、ホームゲームにご招待しています。

あらゆるバックグラウンドをお持ちの方々に、サッカーがもたらす感動・勇気・夢・希望を届け、選手のひたむきなプレーとスタジアムの一体感を、肌で感じていただきたいと考えています。

これからも、ハンディキャップの有無等の理由で分け隔てられることのない、インクルーシブな社会の実現を目指して活動してまいります。

福祉 インクルーシブサッカーイベントの開催

カタールレ富山はパートナー企業の皆様とともに、インクルーシブな社会づくりに取り組んでいます。

2025シーズンは「インテック presents ウォーキングフットボール交流会」や「こどもまんなか応援プロジェクト supported by NTT 西日本」で、発達障害の子どもたちも一緒に、サッカーを通じて交流しました。

「インクルーシブ」とは「あらゆる人が孤立したり、排除されたりしないよう援助し、社会の構成員として包み、支えあう」という社会政策の理念です。カタールレ富山は、障がいの有無、年齢、性別によらず、誰もが楽しめるサッカー体験を提供していきます。



福祉 誕生日寄付



誕生日に、この世に生まれたことに感謝し、感謝の気持ちを次世代につなぐために、困難を抱えている子どもたちを支援します。カタールレ富山の選手やサポーターの方々と共に、たとえ障がいがあっても皆と共に幸せに暮らせる富山をめざす活動です。

自身の誕生日や推しの選手の誕生日に、幸せな気持ちを寄付という形でいただき、障害児や支援の手が届きにくいグレーゾーンの児童のために活動する富山県内の団体にお渡しします。2025シーズンは試合前のスタジアムで寄付金の贈呈式を行いました。



教育 カタールレ富山「夢教室」 supported by スギノマシン

トップチームの選手が、子どもたちに対話や触れ合いを通して「夢をもつこと」「夢に向かって努力すること」の大切さや、「フェアプレー」「助け合いの精神」を伝えるプロジェクトです。

2025シーズンは富山県内の小学校と大学10校で実施し、のべ約710名が参加しました。

この夢教室を通して、子供たちは「自分も周りの人に感謝しながら毎日努力したい」「夢の実現に向けて参考にしたい」といった感想を持ち、夢や今の自分について深く考える有意義な時間になりました。



教育 ドコモ未来フィールド

「ドコモ未来フィールド」は、子どもたちがさまざまな「プロのセカイ」を体験できる機会を提供し、大切な学びや夢をみつけてもらうためのプロジェクトです。

スタジアム見学ツアーで試合運営の裏側を覗き、貴重な体験をしたほか、青池学園による食育セミナー「身体づくりには食が基本」で、「食」の大切さを学びました。また、カタールレ富山選手OBをゲストに迎えたサッカー教室を開催し、試合を終えたばかりのピッチで、プロの気分を味わいながら特別な時間を過ごしました。



教育 交通安全・防犯の啓発活動

警察機関と連携し、交通安全や防犯についての啓発活動を実施しています。

2025シーズンは、松岡大智選手が「滑川交通安全大使」に、ライカくんが「富山南警察署110番広報大使」に、それぞれ任命され、地域の小学校で活動しました。

「ルールを守ること」「状況に応じて判断すること」は、スポーツも同じです。子どもたちが安心・安全に暮らせる社会を目指して、カタールレ富山ができることに取り組んでいきます。危険な行為はレッドカード!!



サステナビリティ GREEN プロジェクト

ゴールドウインと協働で、環境に配慮した活動を展開しています。ホームゲーム会場で衣類回収BOXを設置し、不要になった衣類の回収を実施しています。

回収した衣類のうち、ポリエステルやナイロン製のものは、ケミカルリサイクルにより高純度の原料に戻し、ダウンウェアは新たなダウン製品の材料とするなど、新たな資源へ転換することで環境負荷の低減を図ります。

カタールレ富山のユニフォームはゴールドウインが手掛けており、GREENプロジェクトをはじめ全国で回収した不要衣類からつくられた再生ポリエステルを採用しています。

カタールレ富山は、これからも循環型社会の構築にむけて地域の人々と一緒に環境を改善するアクションに取り組んでいきます。



サステナビリティ 海洋ごみを意識したクリーンアップ活動

富山県の海岸に流れ着くごみの約8割が県内河川を通じて海に流れ出たものと言われており、2050年には海洋ごみの量は魚の量よりも多くなるとも言われています。

カタールレ富山では、「世界で最も美しい湾クラブ」にも加盟する「富山湾」を未来へ繋いでいくプロジェクトを展開しています。年間を通して街中や海岸の清掃活動を実施しているほか、ホームゲーム開催時には、「海にゴミは行かせない!」を合言葉にスタジアム周辺のごみ拾い活動を行っています。

この街が、この海が、100年先も美しくあるために、これからも企業や行政と連携して取り組んでまいります。



サステナビリティ とやまジビエとアカデミーの連携

ジビエは、牛肉や豚肉と比べて、低脂肪・高タンパクで、鉄分などの栄養価も豊富な肉として注目されています。地域の未来を担う育成年代の子どもたちにとっても、良質な補食となる可能性を秘めています。

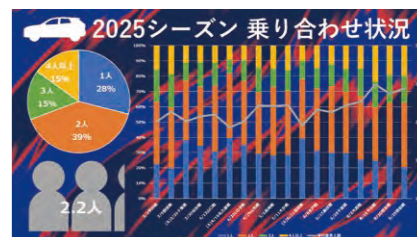
カタールレ富山は、青池学園、食肉処理事業者の皆様と協働で、アカデミーの選手の食事におけるジビエの活用を検証しています。今後も、「とやまジビエ」の認知拡大に努めてまいります。



サステナビリティ 環境負荷の少ない来場手段の推奨

富山県は1世帯あたりの自家用車保有台数が全国2位の車社会ですが、ホームスタジアム周辺の駐車場は限られます。カタールレ富山は、環境負荷の少ない持続可能なクラブ運営を目指しており、来場時のバス利用やマイカー乗り合わせを推奨しています。

トヨタモビリティ富山、富山地方鉄道との協力のもと、シーズンを通してお得なデジタルバス乗車券を販売しているほか、試合毎の乗り合わせ状況を可視化・発信し、意識づけに努めています。



関係人口創出 試合会場での富山県PR

カタールレ富山が所属するJ2の舞台では、たくさんのサポーターが応援のために遠征します。富山県にも、宿泊を伴って多くのビジターの方に来県いただいています。

カタールレ富山は、この環境を、富山県が目指す「関係人口創出」の絶好の機会として捉え、ホームゲームやアウェイゲームの会場で、観光情報の提供や特産品の販売を行っています。

2025シーズンは、県内市町村と企業の協力を得て、ビジターの方向けのお土産抽選会を実施し、大変好評をいただきました。

